

公益社団法人砂防学会 2014年8月広島大規模土砂災害緊急調査団による  
調査結果に関する記者発表 要旨

日時： 平成26年10月30日（木） 13:30～14:45

場所： 広島県立総合体育館 小会議室

学会側参加者：海堀 正博（調査団長：広島大学 教授）

松村 和樹（調査団員：京都府立大学 教授）

島田 徹（調査団員：国際航業（株） 部長）

取材機関（順不同）：NHK、広島放送、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島テレビ、

毎日新聞、朝日新聞、読売新聞、産経新聞、共同通信社、ほか

＜学会からの説明項目＞

- ① 学会ホームページに掲載した緊急調査団の「速報」の説明・解説
- ② 砂防学会誌11月号に掲載される予定の災害報告の概要説明
- ③ 緊急調査団の調査成果に関する報告会の案内
- ④ 報告会で説明する資料の一部の開示と解説  
(被災エリアの詳細な地形・地質・土地利用の変遷など整理したもの)

＜取材機関からの質問＞

- 確率雨量の解釈についての補足説明に関する質問
- 写真の位置の渓流の勾配についての補足説明に関する質問
- イエローゾーン・レッドゾーンの設定で、花崗岩などの地質の違いを反映しているか？
- 広島市のハザードマップで避難場所を（災害タイプごとに）色分けしているが、それは有効と考えられるか？
- 避難勧告があったとしても、安全な避難は困難とあるが、詳しく説明してほしい。
- 宅地開発の問題点をどのように考えているか。

「この緊急調査および記者発表は、公益財団法人 河川財団の河川整備基金の助成を受けています。」